

第140回 サイエンス・カフェ札幌

ワクチン？ 何それ、おいしいの？

経口ワクチンで狂犬病から世界を救え！

話し手

板倉 友香里 さん

北海道大学 IVReD 特任助教

聞き手

池田 貴子

北海道大学 CoSTEP 特任講師

会場

北海道大学 医学部百年記念館
2F 多目的ホール

主催

北海道大学 CoSTEP

北海道大学総合イノベーション創発機構ワクチン研究開発拠点 (IVReD)

このイベントは、「ワクチン開発のための世界トップレベル研究
開発拠点の形成事業」の一環として開催します。



2025

3. 23 sun.

15:00-16:30



ワクチン？何それ、おいしいの？

経ロワクチンで狂犬病から世界を救え！

食べるワクチンって知ってますか？

実は今、注射ではなく食べるタイプの「経ロワクチン」の開発が進んでいます。特に、野犬や野生動物から人間に感染する狂犬病ウイルスへの対策として期待されています。狂犬病は、日本では1950年代の徹底した対策により撲滅されていますが、世界では今も毎年約6万人が命を落とし、特にアジアやアフリカの貧困地域で深刻な問題になっています。狂犬病を封じ込めるには野犬や野生動物にワクチンを広く行き渡らせることが不可欠ですが、一頭ずつ注射を打つのは現実的ではありません。

そこで、北海道大学総合イノベーション創発機構ワクチン研究開発拠点 (IVReD) では、動物が自然に摂取できる狂犬病経ロワクチンの開発に取り組んでいます。餌にワクチンを混ぜて野外に撒くことで、効率的かつ広範囲にワクチンを届けることが可能になります。さらにIVReDの研究では、従来のワクチンとは異なり、生きたウイルスを使わないことにより、安全性を向上させることを目指します。この技術に挑んでいるのは、世界でもIVReDだけです。

病原性を取り除いたウイルスとは、どのようなものなのでしょう？ 口から摂取したワクチンがどのように体の中で動くのでしょうか？ 研究にはまだ多くの課題がありますが、この技術が確立すれば、狂犬病対策が飛躍的に進むだけでなく、他の感染症への応用も期待できます。今回のサイエンスカフェでは、IVReD特任助教の板倉友香里さんが、経ロワクチンの仕組みや開発の最前線について解説します。

食べるワクチンが変える未来を、一緒に考えてみませんか？



会場へは公共交通機関でお越しください。

いたくら ゆかり
板倉 友香里さん

博士 (獣医学)

北海道大学 総合イノベーション創発機構
ワクチン研究開発拠点 特任助教



1994年群馬県生まれ。北海道大学大学院国際感染症学院博士課程を修了。獣医学博士。2023年4月より現職。専門はウイルス学。とくにウイルスの病原性の発現機構や感染増殖機構の解明を専門とし、現在は主に狂犬病の経ロワクチン開発にとりくんでいる。趣味は研究と旅行と料理と猫。学生時代にはバックバックで各国を巡り、今でも世界各国の料理を作るのが楽しみの一つ。一緒に暮らす3匹の猫が日々の癒し。

※ このイベントは、「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」の一環として開催します。

主催

北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 N163A
e-mail costep_office@ml.hokudai.ac.jp
phone 011-706-5320
<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp>

北海道大学 総合イノベーション創発機構
ワクチン研究開発拠点 (IVReD)

〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目
北海道大学 北キャンパス 総合研究棟 7号館 4階
e-mail kyotenjimu@ivred.hokudai.ac.jp
phone 011-706-9727 fax 011-706-9726
<https://www.ivred.hokudai.ac.jp/>

次回

CoSTEP 21期 開講特別講義 (一般公開)

テーマ 被爆者
開催日 2025年5月10日 (土)
会場 北海道大学フロンティア応用科学研究棟 2F 鈴木章ホール
詳細はCoSTEPのWebページをご確認ください。

CoSTEPは科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育研究組織です。

